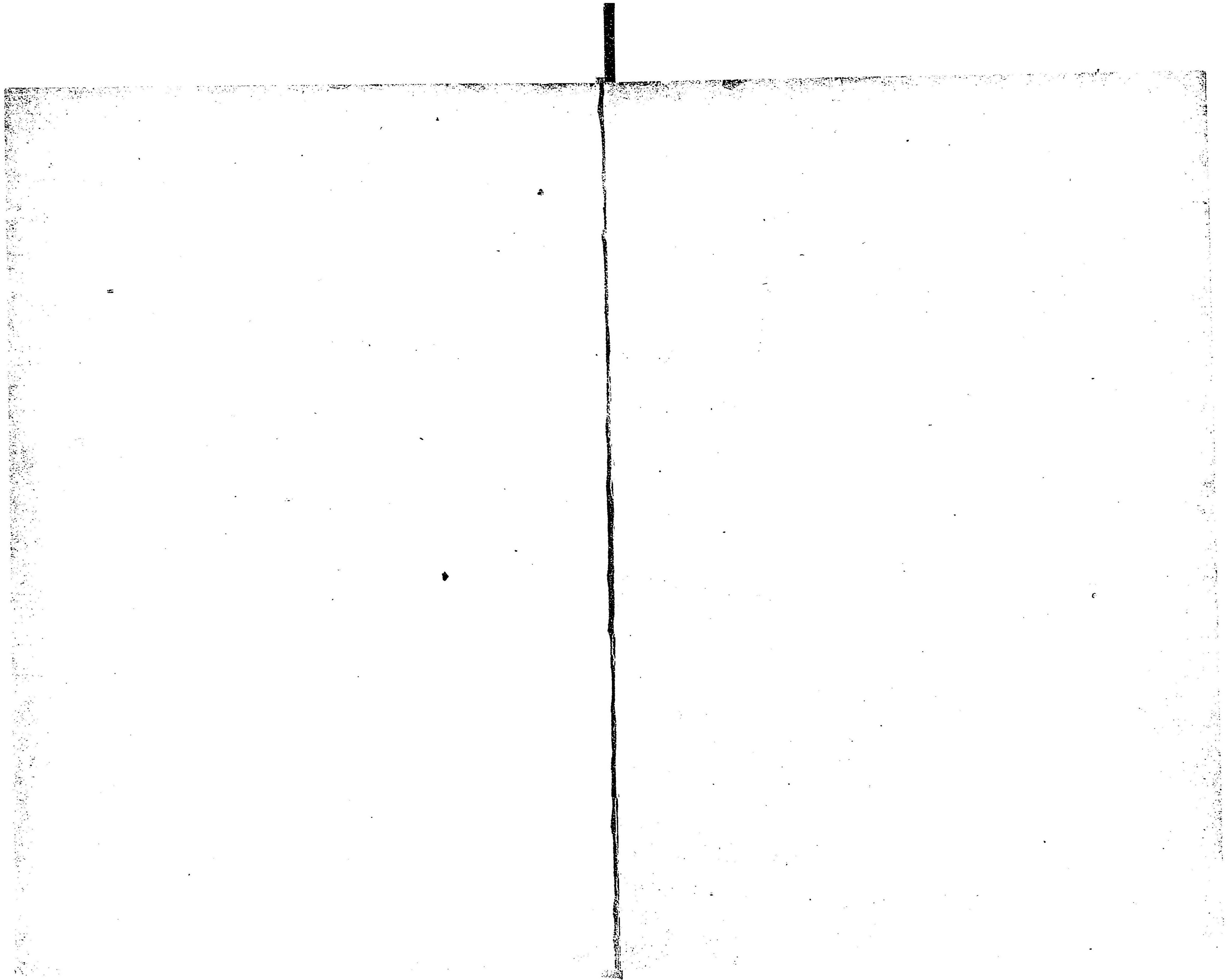


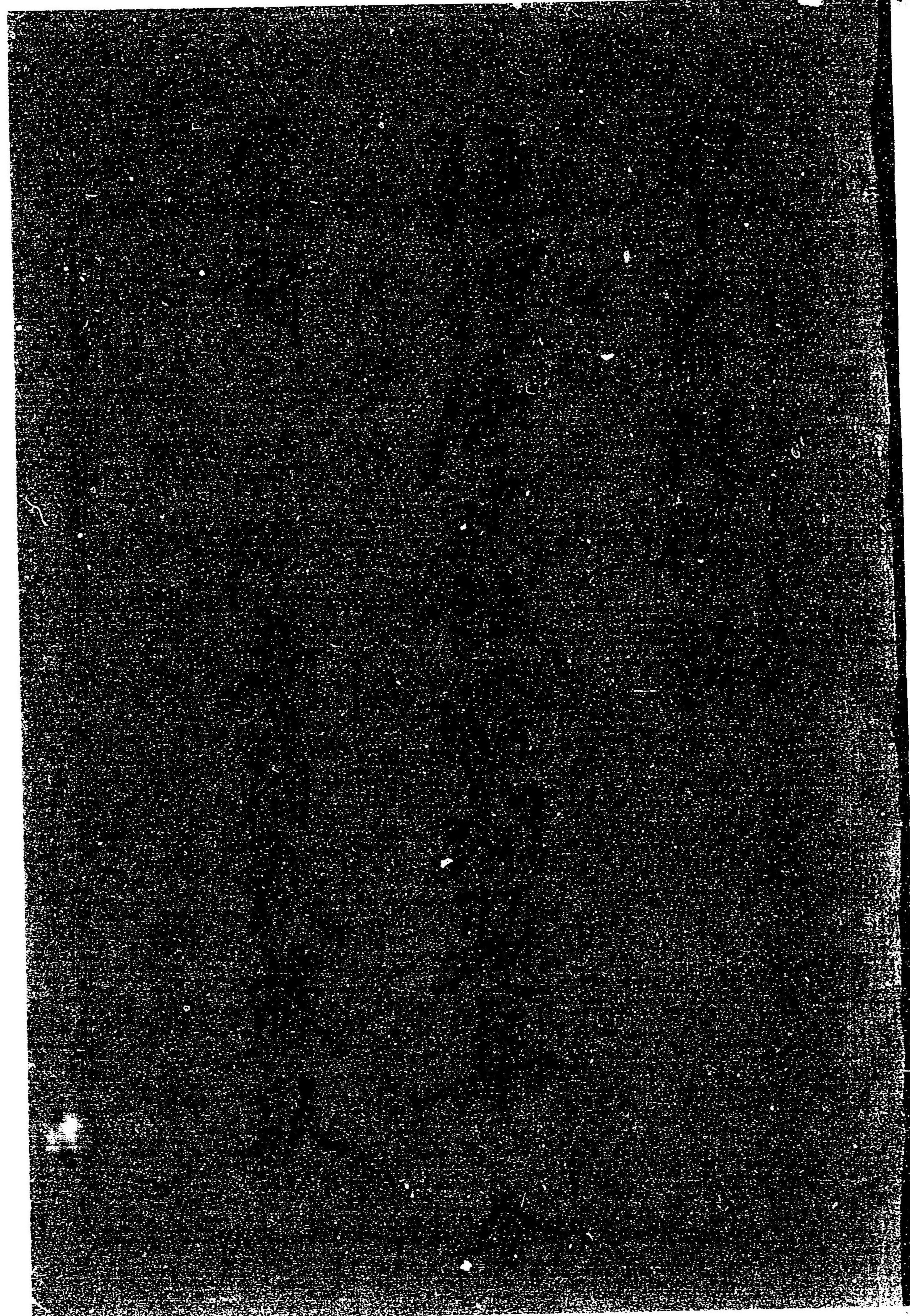
水上泰健編輯

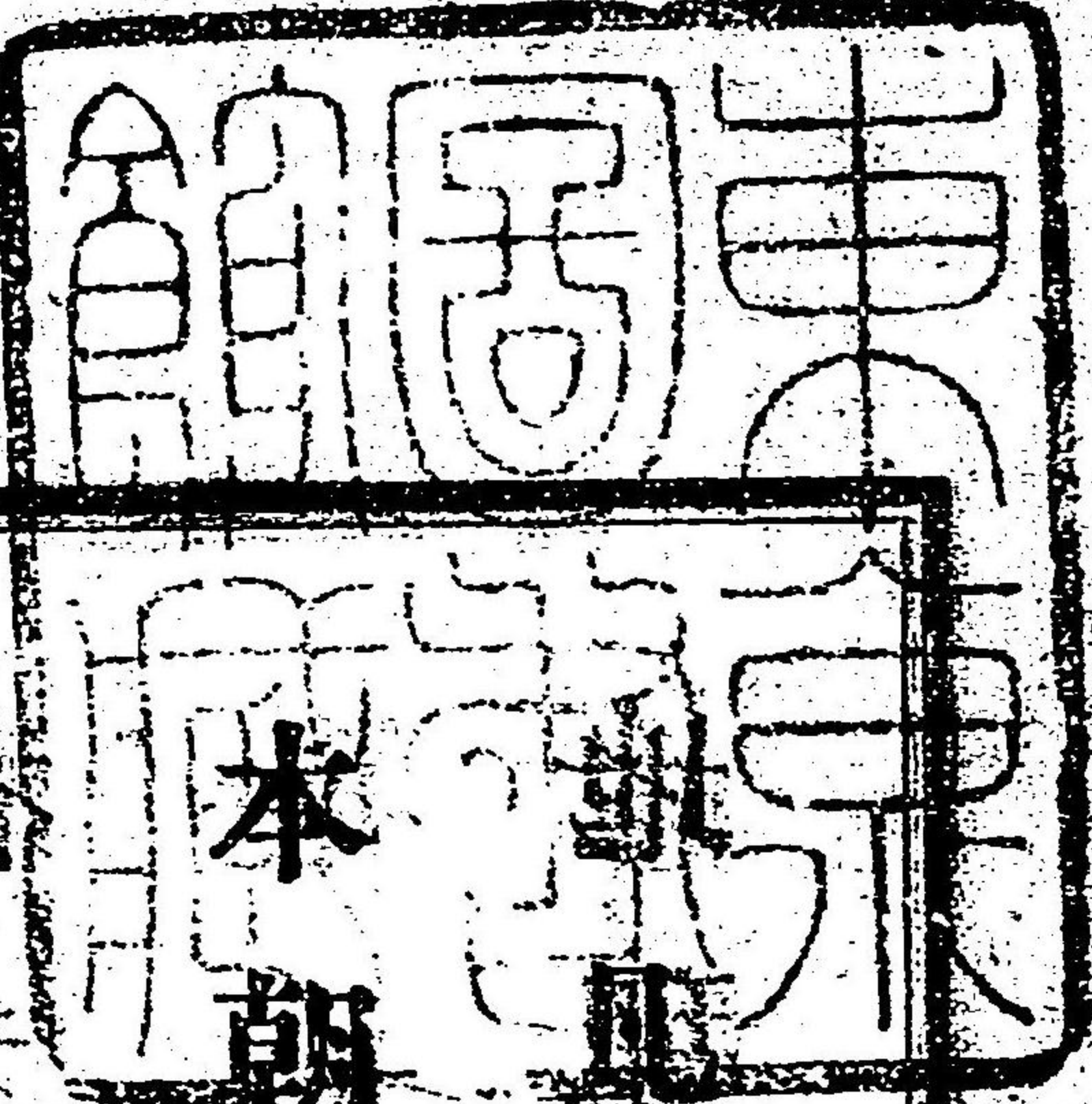
地理歷史試驗問題集 全

官許

井筒氏藏版







東洋書院

本朝

下

初學或六書ニ對シ茫洋迷津  
門ノ變亂等勝テ數フ可テス  
百有餘年其間制度ノ沿革武  
下近世ニ及ヒ殆二千五

例學ハ專ニ史圖ニ因テ

本朝歴史ノ科タルヤ上神代

下近世ニ及ヒ殆二千五

百有餘年其間制度ノ沿革武

門ノ變亂等勝テ數フ可テス

初學或六書ニ對シ茫洋迷津





ハ諸國出ス所數多ナルヲ以テ悉記載スル能ハズ故ニ先其畫眼ナル者ヲ摘出シ其他ハ省略ニ從ヌルニ由リ其地理申縣名別載セザル者ハ其外時々廢置アリテ一定ス

ル能ハザルヲ以テナリ

明治十七年八月

編者識

地理歴史試験問題集  
永上泰健編輯

地理歴史試験問題集

永上泰健編輯

東洋日本地理問題并答

日本風景學

東國陸前嶽松嶋、國丹後、美橋立、安藝、嚴嶋、

三高山學

本州駿河、富士山、加賀、白山、越中、立山、

三大川學

正濃利根川、信濃川、北上川、

三急流學

三河駿河、富士川、羽前、最上川、肥後、玖摩川、

三府邊間ノ士民、  
 三意東京府、大阪府、京都府、  
 五港、  
 三大神奈川、神戸、長崎、新潟、箱館、  
 本邦第一ノ大湖及湖中著名ノ嶋嶼、  
 東海道中海無キ國ヲ舉、  
 日本伊賀國、甲斐國、  
 東海道申半嶋之國名ヲ舉、  
 伊豆國、上總安房ヲ合シ半嶋奉、  
 北陸道、半嶋國、如何

能登國、  
 北陸道七夫河ヲ舉、  
 安堵川、手取川、射水川、神通川、  
 常願寺川、黑部川、信濃川、  
 東山道第一ノ都邑、  
 北陸道前正仙臺、  
 中國第一ノ大都會、  
 山、  
 北國最大ノ都會、  
 加州ノ金澤、  
 日本ノ島國ヲ舉、



日本佐渡、隱岐、壹岐、對馬、  
 四國第一ノ大川及都邑ヲ記セ  
 吉野川、阿波、德島、  
 山陰道第一ノ高山及大川ヲ記セ  
 中國伯耆、大山、石見、郷、川、  
 北海道、五、大、河、ヲ舉メ  
 東山、新、狩、川、笑、鹽、川、久、摺、川、十、勝、川、後、志、川、  
 筑紫第一ノ大川ヲ問フ、  
 筑後川、即、筑紫三郎、楠、本、川、  
 中國、遼、海、無、洋、國、ヲ舉メ  
 君、波、國、美、作、國、

四國內主山ヲ問フ  
 伊豫、石、鎚、山、  
 山陽南海、三、道、ヲ問フ、  
 播磨灘、水、嶋、灘、  
 三陸第一ノ大川ヲ問フ、  
 北海道物産ヲ問フ、  
 東海道中、殆、シ、ト、山、岳、無、キ、國、ハ、何、處、ソ  
 東、下、總、國、  
 羽州、三、木、川、

最上川、御物川、能代川、  
 東山道申最小國及最大國ヲ問フ  
 東國飛驒國、信濃國、  
 噴火國、著名ナル者ヲ舉グ  
 北國信濃、淺間山、肥後阿蘇山、  
 物産、著名ナル者ヲ舉グ  
 三割米、生絲、茶、金銀、陶器、漆器、紙等、  
 ○五畿内、木、紙、  
 ○山城、高山及夫川ヲ舉グ  
 愛宕山、比叡山、淀川、宇治川、木津川、  
 同國ヲ都邑ヲ舉グ

同京都、伏見、淀、宇治、  
 同國名勝ノ地ヲ舉グ、  
 ○關東山、圓山、清水、西山、嵐山、嵯峨、  
 同國物産ノ主ナル者ヲ舉グ  
 同白川、宇治茶、西陣織、清水焼、  
 ○大和、高山及大川ヲ舉グ  
 ○吉野山、葛城山、吉野川、津川、  
 同國、都邑ヲ舉グ  
 奈良、郡山、  
 同國物産ノ主ナル者ヲ舉グ  
 ○奈良、吉野紙、吉野葛、及墨、

○河内ノ大岳及大川ヲ間フ櫻井、  
 金剛山、吉野川、  
 同國物産ノ著名ナル者ヲ舉ヨ  
 河内米綿、道明寺糯、  
 ○和泉北境ノ大川及繁盛ノ港ヲ間奉良、  
 ○大和川、堺ノ港、  
 同國物産ノ有名ナル者ヲ舉ゲ、  
 同鐵器、木綿、  
 ○攝津ノ高山及大川ヲ舉西山、嵐山、  
 同摩耶山、武庫山、淀川、池田川、  
 同國著名ノ温泉及瀑布ヲ間フ

有馬ノ温泉、布羽ノ瀧、山田、  
 同國濱浦ノ著名者ヲ舉ヨ  
 住吉浦、須磨浦、武庫海、  
 同國又都邑ヲ舉リ、  
 大阪、神戶、兵庫、尼ヶ崎、  
 同國物産ヲ主世ノ者ヲ舉ヨ  
 御影石、池田炭、伊丹酒、  
 ○伊賀ノ都邑ヲ間フ  
 ○伊賀ノ都邑ヲ間フ  
 同國産物ノ主世ノ者ヲ如何

同伊賀燒、石炭、松茸、

○伊勢志摩ニ跨ル大山ヲ問フ

○朝熊山

伊勢國分前處ヨリ南北ニ區別スルヤ

雲津洲ヲ界スル

南伊勢並ニ大川ヲ舉ゲ

柿田川、御宮川、

内宮及外宮ノ所在地ヲ記セヨ

内宮於宇治、外宮於山田

同國分都邑ヲ舉ゲ

津、四日市、桑名、山田、

同國著名ナ産物ヲ舉ゲ

○蠶萬古、染形紙、時雨蛤、

○志摩浪港及南岬ヲ問フ

同鳥羽港、參崎ヲ舉ゲ

同國産物産ヲ舉ゲ、

同魚介、海藻ヲ舉ゲ

○尾張海申、突出シタル郡名及岬角ヲ問フ

同多郡、幡豆崎、

同國分都邑ヲ舉ゲ、大平川、

○名古屋、熱田、宮ノ驛トモ云

同國物産ノ主古者ヲ舉ゲ、大蛇、

同瀨戶燒、名古屋扇、鳴海紋、大根、

○三河也、三大川ヲ舉ゲ、

同矢矧洲、同豐川、大平川、

同國多都邑ヲ舉

○同國崎、同豐橋、

同國海ノ木山及脚角ヲ問フ

同種巖山、本宮山、伊良胡崎、

同國以有名ヲ舉

○志御影石、

○遠江也、廣野及湖ヲ問フ

同三芳原、濱名湖、

天龍川ハ何處ヨリ發源シ何洋ニ注グヤ

○同信州諏訪湖ヨリ發シ遠江灘ニ入ル

同國以都邑及脚角ヲ問

同濱松、御前崎、

駿遠兩國ノ界川及遠州中大山ヲ問フ

同大井洲、秋葉山、

遠江也物産ヲ舉

○甲村水、高嶽、大納豆、

○駿河也高山及大川ヲ舉

同富士山、富士川、安倍川、

同國以繁盛ナル都邑ヲ舉

同國ノ主ナリ當物産ヲ舉テ示ス

○駿河桑紙、又、竹器、安倍茶、

○甲斐及高山及大州ヲ舉テ

金峯山、八場岳、白根山、笛吹川、釜無川、

同國ノ都邑及湖木ヲ舉テ

甲府、川口、湖、釜山、中大湖、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉テ

雨畑硯、海氣絹、果物類、

○伊豆及大田及港ヲ開テ又、釜、鐵、人、

天鼓城山、同、下、由、港、就、同、并、二、我、

同國ノ温泉及脚角ヲ問フ

熱海、温泉、石廊崎、堂、島、海、水、

同國ノ主嶋ヲ舉テ

大嶋、利嶋、新島、磯式根島、神津島、

同國ノ宅嶋、首、三倉島、

同國ノ主王ノ物産ヲ舉テ、貝、工、餅、干、

同國ノ材、木材、雁皮紙、椎茸、

八木島著名ノ産物ハ、荷、珍、寶、玉、島、

同國ノ艾絹、

小笠原島ヲ檢出セシ、ハ、誰、其、區、別、及、問、フ、

小笠原島、母島ニ分ツ

○相模ノ高山及大川ヲ舉<sub>ヨ</sub> 相模ニ於テ  
 小南降山、是柄山、箱根山、馬入川、酒匂川、  
 同國著名ノ都邑ヲ舉<sub>ヨ</sub>  
 大田原、鎌倉、横須賀、江ノ島、  
 同國物産ノ主ナル者ヲ舉<sub>ヨ</sub> 漆、  
 湯本細工、根府川石、貝細工、梅干、  
 同國ノ脚角及湖水ヲ問フ  
 觀音崎、三崎、蘆薈湖、湖邊遊樂、 崎草、  
 箱根ノ七湯ヲ舉<sub>ヨ</sub>  
 湯本、湯澤、下宮、 堂ノ島、底倉、木賀、  
 同蘆湯、湯本、湯澤、 湯本、湯澤、

○武藏ノ山川ノ著名ナル者ヲ舉<sub>ヨ</sub> 湯澤、  
 秩父山、武甲山、荒川、多摩川、  
 同國有名ナル都邑ヲ舉<sub>ヨ</sub> 上野、  
 同東京ノ横濱、八王子、川越、熊谷、  
 同國物産ノ主ナル者ヲ舉<sub>ヨ</sub>  
 秩父絹、淺草海苔、錦繪、  
 ○安房上總ニ跨ル高山及安房南端ノ岬ヲ問フ  
 同鋸山、野嶋崎、  
 安房ノ物産ノ主ナル者ハ何ゾ  
 同魚類、房洲砂、水仙花、  
 ○上總ノ最高山及川流ヲ問フ 小淵川、

○鹿野山、大瀧川、養老川、小櫃川、

同國ノ都邑及岬角ヲ問フ

本更津、富津、洲、大東崎、

同國著名ノ産物ヲ舉グ

○鯉、鯛、紅花、茶、

○下總ノ原野ヲ問フ

○小金原、六方野

同國ノ河及湖ヲ舉グ

利根川、絹川、印旛沼、手賀沼、

同國ノ都邑ヲ舉グ

銚子、佐倉、千葉、古河、結城、

同國主眼ナル物産ヲ舉グ

俵倉炭、結城紬、銚子縮、

○常陸ノ高山及河湖ヲ舉グ

筑波山、八溝山、那珂川、久慈川、霞ヶ浦、

同國ノ都邑ヲ舉グ

水戸、那珂港、土浦、

○同國物産ノ主ヲ選者ヲ舉グ

米綿、烟草、紙類、

○東山道

○近江ノ高山及大湖ヲ舉グ

伊吹山、比良峯、琵琶湖、



同國各都邑ヲ舉ヨ

○彦根、大津、長濱、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

野洲晒、信樂茶、長濱縮緬、伊吹艾、

○美濃ノ大岳及原野ヲ舉ヨ

惠那岳、大目岳、不破野、各務野、大野、

同國著名ノ瀑布及大河ヲ舉ヨ

養老瀧、木曾川、長良川、揖斐川、

同國繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

岐阜、大垣、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

同美濃紙、水晶、白柿、養老酒、

○飛驒ノ最高峯及都會ノ地ヲ問フ

同乘鞍岳、高山、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

○礦物、獸類、木材、

○信濃ノ山岳ヲ舉ヨ

同御岳、駒ヶ岳、菅戸隠山、黒姫山、

同國著名ノ湖及河ヲ舉ヨ

諏訪湖、千曲川、犀川、木曾川、天龍川、

同國看月ノ勝地ヲ問フ

同麩捨山、田毎、

同國繁盛ノ都邑ヲ舉ヨ

松本、善光寺、松代、上田、

信州著名ノ噴火山ヲ問フ

淺間山

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

林木、礦物、獸類、蕎麥、絹紬、

○上野ノ高山ヲ舉ヨ

真榛名山、妙義山、赤城山、

同國著名ノ温泉ヲ舉ヨ

草津、伊香保、

同國ノ繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

高崎、前橋、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

蠶種、生絲、絹紬、桐生織物、

○下野ノ山岳及廣野ヲ舉ヨ

日光山、那須岳、庚申山、那須野、

同國ノ大河及湖ヲ問フ

絹川、中禪寺湖、

同國瀑布ノ有名ナル者ヲ舉ヨ

華嚴、裏見、霧降、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

宇津宮、椽木、日光、

同國著名ノ産物ヲ舉グ

足尾銅、日光蠟石、真岡木綿、足利絹、

○磐城之西北隅ナル大岳ヲ舉グ

旭岳、藏王岳、

同國都邑ノ名アル者ヲ舉グ

白河、白石、平、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉グ

○石炭、山經節、紙、

○岩代ノ高山ヲ舉グ

三本松岳、吾妻岳、磐梯山、

同國河及湖ヲ問フ

同阿武隈川、只見川、猪苗代湖、

同國大都邑ヲ舉グ

○福島、若松、二本松、

同國有名ノ産物ヲ舉グ

蠶種、生絲、巻田銀、蠟燭、漆器、

○陸前之山岳太田及半嶋ヲ舉グ

栗駒岳、北上川、牡鹿半島、

同國有名ノ島嶼及良港ヲ問フ

同金華山、松島、香卷、

同國ノ産物ノ主ナル者ヲ舉グ

刺馬、埋木、大銅鐵、

○陸中ノ高峯及大河ヲ問フ

早池峯、御駒岳、岩手山、北上川、

同國都邑ノ繁盛ナル者ヲ舉ゴ

盛岡、關、水澤、

同國沿岸ノ良港ヲ舉ゴ

宮古港、釜石港、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ゴ

牛馬、生絲、南部、鐵瓶、

○陸奥ノ高山及大川ヲ舉ゴ

岩木山、八甲田山、恐山、岩木川、

同國ノ半島及岬角ヲ舉ゴ

斗南半島、大間崎、尻矢崎、龍飛崎、

同國ノ都邑ヲ舉ゴ

青森、弘前、八戸、三戸、

○同國産物ノ主ナル者ヲ舉ゴ

諸礦物、牛馬、塗物、

○羽前ノ高山及大川ヲ舉ゴ

月山、湯殿山、羽黒山、最上川、

同國ノ都邑ヲ舉ゴ

鶴岡、米澤、山形、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ゴ

○陸奥ノ産物、礦物、煙草、蠟、

○羽後 最高山及兩大川ヲ問フ  
 同鳥海山、御物川、能代川、  
 同國ノ都邑及湖沼ヲ舉メ  
 同秋田、酒田、能代、八郎潟、  
 同國物産ノ主ナル者ヲ舉メ  
 ○漆類、能代漆器、秋田漆、  
 ○北陸道 同  
 ○若狹 瀨灣及湖ヲ問フ  
 赤濱港、青戸灣、三方湖、  
 同國有名ナル産物ヲ舉メ  
 塗物、魚類、

○越前 高山ヲ舉メ  
 ○越前 荒島岳、丈鏡岳、經岳、木芽嶺、  
 同國大川ヲ舉メ  
 同國野州、足羽川、九頭龍川、  
 同國繁盛ナル都邑ヲ舉メ  
 同國藩井、敦賀、坂井、大野、  
 同國著名ノ産物ヲ舉メ  
 ○和紙類、細、蚊帳、  
 ○加賀 高山及大川ヲ問フ  
 同國山、手取川、  
 同國都邑ヲ舉メ

同金澤、小松、大聖寺、金石港、

同國ノ主眼ナル物産ヲ舉グ

○能登、小松絹、九谷焼、菅笠、礦物、

同珠洲岬、能登嶋、

同國ノ名邑ヲ舉グ

同七尾、輪嶋、福浦、

同國ノ物産ヲ舉グ

同漆器、大鹽、海苔、

○越中ノ高山ヲ舉グ

○越前山、劔岳、大門岳、礪波山、

同國ノ大川ヲ舉グ

神通川、射水川、黒部川、

同國ノ三大邑ヲ舉グ

同富田、高岡、魚津、

同國ノ主大物産ヲ舉グ

鍔器、五郎丸布、藥劑、

○越後ノ高山ヲ舉グ

燒山、妙高山、守門岳、米山、御神樂岳、

飯豊山、

同國川流ノ大ナル者ヲ舉グ

信濃川、阿賀川、荒川、魚沼川、

同國屈指ノ都邑ヲ舉ヨ

新潟、高田、長岡、三條、新發田、村上、

同國海港ノ地ヲ舉ヨ

出雲崎、柏崎、寺泊、直江津、

○越後ノ上中下ハ何處ヨリ區別スルヤ

米山以西ヲ上越後トシ彌彦以東ヲ下越後トシ兩

山ノ間ヲ中越後トス

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

小千谷縮、石炭、石腦油、礦物、

○佐渡ノ港及山ヲ開ク

同夷港大貝金山北山、

同國ノ都邑ヲ開ク

相川、小木、

同國主眼ノ産物ヲ舉ヨ

金銀、魚類、海草、

○山陰道

○丹波ノ高山及大河ヲ舉ヨ

知井山、鬼城山、大江山、福知川、

同國都邑ノ稍繁華ナル者ヲ舉ヨ

龜岡、篠山、福知山、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

烟草、疊表、砥石、

○丹後第一ノ高峯及最大川ヲ問フ

足占山、由良川、

同國ノ海灣及山岳ヲ舉グ

舞鶴灣、與謝ノ海、千丈岳、由良岳、

同國ノ都邑及勝地ヲ問フ

舞鶴、宮津、天橋立、

同國ノ主ナル産物ヲ舉グ

縮緬、細綿、鱒、

○但馬ノ山岳及川流ノ大ナル者ヲ舉グ

氷山、朝來山、來日岳、城崎川、

同國ノ銀山及温泉ノ著名ナル者ヲ舉グ

生野銀山、湯島ノ温泉、

同國ノ都邑ヲ舉グ

出石、豐岡、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉グ

金銀、陶器、柳行李、

○因幡ノ大岳及巨川ヲ問フ

菅山、因幡山、鷲峯山、千代川、

同國ノ都邑及大湖ヲ問フ

鳥取、湖山、湖、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉グ

白珊瑚、紙、

○伯耆ノ三大山ヲ舉グ

大山、船上山、美德山、



同國山火烈ヲ舉ヨ

前野川、夫神川、

同國繁盛ナル都邑及要港ヲ問フ

米子、境、港、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

鐵、鋼、木綿、石材、

○出雲ノ高山及大川ヲ舉ヨ

天狗山、三郡山、簸川、

同國ノ湖及半島ヲ問フ

宍道湖、鳴根半島、

同國ノ主ナル都邑ヲ舉ヨ

松江、杵築、

同國物産ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

銅鐵、蜜柑、人參、

○石見ノ高山及大川ヲ問フ

三瓶山、郷川、高津川、

同國ノ都會ヲ舉ヨ

濱田、津和野、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

同銀銅、紙、蠟、無名異、

○隠岐ノ島ヨリ成レルヤ

同大島、西島、中島、知夫里島、以上四嶋

同國ノ二港ヲ舉ヨ

西郷港、知夫里港、

同國產物ノ主ナル者ヲ問フ

木材、魚介アルヲ

◎山陽道

○播磨ノ淡山及巨川ヲ舉ヨ

書寫山、加古川、市川、揖保川、

○同國繁盛ナル都邑ヲ舉ヨ

姫路、明石、赤穂、室津、

同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

姫路革、赤穂鹽、明石縮、

○美作ノ都邑及川流ヲ舉ヨ

津山、高田、津山川、高田川、

同國產物ノ名アル者ヲ舉ヨ

銅鐵、硯石、雲齋織、

○備前ノ半島及二大河ヲ舉ヨ

兒島ノ半島、吉井川、旭川、

同國産物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

國山、牛窓、

同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

蠟石、陶器、刀劔、

○備中ノ高山及大川ヲ舉ヨ

○備前赤瀧山、遠照山、河邊川、

同國以都邑ヲ舉ヨ

高梁、笠岡、倉敷、

同國產物ノ著名ナル者ヲ舉ヨ

銅鐵、木綿、疊表、

○備後高嶺及大河ヲ舉ヨ、蘆田川、

御神山、美神山、三次川、

同國以都邑ノ屈指ナル者ヲ舉ヨ

福山、尾道、鞆、津、三原、

同國屬島ノ最大ナル者ヲ問フ

美院嶋

○同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

疊表、花苳、鏡、

○安藝大川及都邑ヲ舉ヨ

太田川、吉田川、廣嶋、嚴嶋、

同國神權ノ島嶼ヲ舉ヨ

嚴嶋、能美島、倉橋島、犬崎島、

○同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

銅鐵、山繭紬、紙、牡蠣、

○周防大川及都會地ヲ舉ヨ

岩國川、山口、岩國、三田尻、

同國屬島ノ最大ナル者ヲ問フ

八代島、又大島トモ云

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

紙、縮布、煙草、

○長門、都邑ヲ舉ヨ

赤馬關、萩、

同國及豊前ノ間ナル海峡ヲ何ト云フヤ

早瀬海峡

同國物産ノ著シキ者ヲ舉ヨ

赤馬硯、烟草、陶器、

○南海道

○紀伊ノ高山及大川ヲ舉ヨ

大臺原山、八鬼山、大塔峯、高野山、

紀伊川、成川、

同國東南海ヲ何ト云ヤ且有名ノ瀑布ヲ問フ

熊野瀧浦、那智ノ瀧、

同國又都邑ヲ舉ヨ

和歌山、新宮、田邊、

同國屈指ノ産物ヲ舉ヨ

同蜜柑、紋羽、木材、

○淡路ノ名邑及産物ヲ舉ヨ

洲本、由良、陶器、

○阿波ノ高山及大川ヲ舉ヨ

○國藝邊山、劔山、吉野川、那賀川、

同國東北端ナル舟行危険ノ處ヲ問フ

大鳴戸、小鳴戸、

同國以都邑及物産ノ著名ナル者ヲ問フ

德島、藍、砂糖、鯉節、

○讚岐ノ高山及屬島ノ大ナル者ヲ舉グ

丸栗山、象頭山、小豆島、鹽飽島、

同國以都邑ヲ舉グ

同高松、志度、丸龜、多度津、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉グ

砂糖、鹽、木綿、大津、

○伊豫ノ高山及大河ヲ舉グ

石鎚山、瓶森山、唐岩山、篠山、肱川、

○同國ニ屬スル島嶼ノ大ナル者ヲ舉グ

大島、伯方島、大三島、

同國ノ温泉及岬角ヲ舉グ

道後温泉、箱崎、佐多、三崎、

同國ノ産物ヲ舉グ

銅、石材、砂糖、紙、

同國ノ都邑ヲ舉グ

松山、大洲、宇和島、

○土佐ノ高岳及巨川ヲ舉グ

野根山、矢筈山、仁澱川、渡川、

同國ノ兩岬角ヲ舉ヨ

室戸崎、蹉跎岬、

同國第一ノ都邑ヲ問フ

高知

同國屈指ノ産物ヲ舉ヨ

鯉節、紙、石炭、砂糖、

○西海道

○筑前北方ノ洋ヲ問フ

響灘、玄界灘、

同國山川最大ナル者ヲ舉ヨ

同寶滿山、遠賀川、

同國ノ都會ヲ問フ

福岡、博多、宰府、

同國物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

博多織、木綿絞、陶器、

○筑後ノ大山及巨川ヲ舉ヨ

御前岳、高良山、筑後川、矢部川、

同國ノ都邑ヲ舉ヨ

久留米、柳川、

同國ノ物産ノ主ナル者ヲ舉ヨ

未綿、蠟燭、紙、油、

○豐前ノ最大山及川流ヲ問フ

彦山、驛館川、

同國北端ノ一岬ヲ問フ

同門司關

同國繁盛ナル都邑ヲ舉

小倉、中津、

同國之主ナル産物ヲ舉

小倉織、門司硯、生蠟、

○豊後國中ノ高岳及巨川ヲ舉

由布岳、鶴見岳、白瀧川、

同國ノ岬角及都邑ノ名アル者ヲ舉

同國賀關、府内、臼杵、岡、

同國産物ノ著名ナル者ヲ舉

○日北島筵、紙、生蠟、豊後絞、

○肥前ノ高山及海灣ヲ舉

同國渡邊、温泉岳、伊萬里灣、彼杵入江、

同國本屬ノ外五島ヲ舉

同國通島、宇久島、奈留島、久賀島、福江島、

同國繁華ナル都邑ヲ舉

同國長崎、佐賀、大村、島原、

同國著名ナル産物ヲ舉

○同國田、陶器、錫、煙草、蠟燭、

○肥後國噴火山及河流ノ大ナル者ヲ舉

阿蘇山、球摩川、

同國屬嶋ノ最大ナル者ヲ問

天草三太島

同國都邑ノ主ナル者ヲ舉

熊本、八代、人吉、

同國物産ノ著シキ者ヲ舉

○粟、硫黃、蠟、石炭、砂糖、

○日向ノ大岳ヲ舉

同霧島山、法華岳、祖母岳、

同國大川及南端ノ岬ヲ問

○陸奥江川、都井岬、

同國都邑ノ主ナル者ヲ舉

宮崎、都城、高鍋、延岡、

同國有名ノ産物ヲ舉

同日向半切、蠟、砂糖、木材、

○大隅國山岳及岬角ヲ問

同國見岳、高隈山、大佐多岬、

同國南海ノ大島ヲ舉

種子島、屋久島、

同國都邑及嶋ヲ問

國府、加治木、櫻嶋、



同國產物ノ主ナル者ヲ舉ヨ

同煙草、砂糖、硫黃、

○薩摩ヲ高峯及大川ヲ舉ヨ

同紫尾山、開門岳、川内川、

同國ノ脚角及島嶼ノ大ナル者ヲ舉ヨ

○大野間脚、開門崎、甌島、長島、

同國都邑ヲ著シキ者ヲ舉ヨ

同鹿兒嶋、坊津、山川津、

同國產物ノ有名ナル者ヲ舉ヨ

同薩摩摺、陶器、煙草、燒酎、甘薯、硫黃、

○壹岐ノ都邑ヲ問フ

○對勝本、何大島ヨリ成ルヤ且其都邑如何

○對馬、對馬ノ物産ヲ舉ヨ

同大島、成ル、嚴原

壹岐、對馬ノ物産ヲ舉ヨ

○新瀉、雲丹、海藻、

○琉球諸島ヲ大別セヨ

大嶋、沖繩嶋、先嶋、

沖繩嶋、區別如何

同中頭、國頭、島尻、

琉球ノ都邑ヲ舉ヨ

同首里、那霸、運天港、

同五岳ヲ舉

同辨岳、八頭岳、恩納岳、名護岳、佳楚岳、

同物産ノ著名ナル者ヲ舉

同細上布、泡盛酒、芭蕉布、甘薯、瑤瑁、

○北海道

○渡島ノ高山及脚角ヲ舉

同駒岳、又内浦岳ト云、惠山崎、白神崎、

同國ノ三大港ヲ舉

○後志、山及川ノ大ナル者ヲ舉

○後志、山及川ノ大ナル者ヲ舉

○日興市岳、後志川、

同國、脚及島ノ著シキ者ヲ問

同御神崎、奥尻嶋、

同國、都邑、

○石狩ノ大岳及巨川ヲ舉

同石狩岳、夕張岳、石狩川、

同龍川、空知川、

同國、指ノ都邑ヲ舉

同札幌、石狩、

○天鹽、山川及都邑ノ大ナル者ヲ舉

○天鹽、天鹽川、留萌、

○北見、高岳及太川ヲ問フ

○天童、登蟹牛岳、網走川、

同國ノ名邑及岬角ヲ舉ゴ

同宗谷、知床崎、紗織崎、

同國、瀨ノ島、利尻島、

○禮文嶋、

○膽振、高山ヲ舉ゴ、樽前岳、白岳、

同國、都邑及岬角ヲ舉ゴ

同室蘭岳、有珠、勇拂、江巴岬、

○日高、都邑及岬角ヲ問フ

様似、浦河、幌泉、襟裳岬、

○十勝ノ山川及都邑ノ大ナル者ヲ問フ

十勝岳、十勝川、年別川、廣尾、

○釧路ノ山岳ヲ舉ゴ、

北阿寒岳、黎蕪岳、摩周岳、西別岳、

同國、大河及著名ノ瀑布ヲ問フ

千阿寒川、久摺川、阿寒ノ瀧、

同國、都邑及湖水ヲ舉ゴ

○厚岸、釧路、阿寒湖、釧路湖、

○根室、大川及名邑ヲ舉ゴ



長髓彦之謀ヲ奉主トセシヤ且其誅ニ伏セシ顛末如何  
 神武帝以都賀襲メシ合何處ソ  
 皇孫綏靖天皇ハ  
 手研耳命ソ謀逆及結局  
 天照崇神天皇ハ  
 神器ヲ盤縫良邑ニ遷安セシ何ノ代ナルヤ且何ノ故  
 四道將軍ヲ置キ以何ノ代ナルヤ且其姓名ヲ擧ヨ  
 崇神帝何ヲ以テ御肇國天皇ノ稱アリシヤ

垂仁天皇

秋穗彦之謀反及伏誅ノ太略ヲ記セヨ  
 本朝相模ノ始ヲ問フ  
 天照太神ヲ祠テ伊勢ニ遷シ何ヲ代ナルヤ  
 始テ殉死ヲ禁セシ何モ因テ且何ノ代ナルヤ  
 景行天皇  
 景行帝熊襲ヲ親征セシ概略  
 日本武尊以熊襲ヲ征セシ顛末  
 東陸ヲ善婦國ヲ號ス何ニ始ルヤ  
 白鳥以三陵ヲ擧ヨ  
 大直海置キ以始テ問  
 垂仁天皇

成務帝ノ儲嗣ト爲リシハ何ニ因ルヤ

成務帝ノ國郡ノ區畫ヲ記セヨ

仲哀天皇

太連ヲ置テ始メヲ問フニ

神功皇后新羅ヲ征スルノ義如何

新羅王出降セシ時何事ヲ誓約セシヤ

應神天皇

攝坂忍熊三王ノ兵ヲ舉テ以テ顛末且問フニ

甘美内宿禰武内宿禰ヲ讒スル事何等ノ語ヲ以テセ

本朝文教ノ興ル所以ヲ記スニ

義ノ議ノ誤

使宋吳受遣テ織縫女夫求テ何ノ代ナルヤ

仁德天皇

仁德帝及稚郎子ノ禮讓如何問フニ

仁德帝難波宮ニ節儉ヲ問フニ

藤原堤ヲ築キ所以ヲ問フニ

皇川履中天皇

住吉勳皇子望謀反及伏誅ノ大略

姓氏ヲ混亂テ改正セ所以ヲ問フニ

吉備安麻天皇

木梨輕皇子望淫虐如何

武尊香皇受テ殺シ所以ヲ問フニ

肩輪王ノ安康帝ヲ弑スル顛末

大倭雄略天皇

吉備田狹ノ反スル原因及結局

根便主ヲ誅セリルノ原因ヲ記ス

計吉清寧天皇

星川王ノ反ヲ問フ

養計謀計三王ノ難ヲ避ケテ民間ニ在リシ狀及國司之

才主奏事顛末

敏豐青皇女ノ政ヲ聽キ以テ何ニ因ルヤ

顯宗天皇

顯宗帝父ヲ改葬セテ大略ヲ記セ

顯宗帝雄略帝ヲ陵ヲ發カシテ時之ヲ諫メシハ誰

武烈天皇

乘羣鷲鳥及鮪ヲ誅セリルノ原因何ニ因ルヤ

武烈帝ノ任行ヲ略記セヨ

繼蘇帝即位顛末前蘇何處顯在何處ヤ且帝ヲ迎立セシ大

略ヲ問フ

鏡野天皇

膳臣也提便高麗ニ在リテ勇壯ノ所爲如何

百濟佛像經論ヲ獻セシハ何代ニアルヤ

佛法始メテ來リシ時羣臣中ニ如何ナル論議アリシヤ

其結局如何  
本朝佛寺ノ始ヲ問フ  
伊金儼新羅ノ爲ニ擒ハレテ屈セザリテ狀如何

敏達天皇

壬辰爾敏智ノ所爲如何

百濟使者日羅ヲ殺シテ顛末如何

崇神天皇

崇德部皇子ヲ淫蕪ノ所爲如何

厩戸皇子守屋ヲ誅セシ大略

馬子ヲ弑逆ヲ行ヒテ何ニ因ルヤ

推古天皇

始テ隋ニ通ジシハ何ノ代ナルヤ且誰ヲ使者トセシヤ

文帝即位ノ始ヲ問フ

僧正僧都ヲ置キテハ何ニ因テヤ且何ノ代ナルヤ

舒明天皇

舒明帝ノ遺跡ニ當テ如何ナリ異議アリシヤ且其結末

如何

皇極經世

皇極帝親雨ヲ祈リテ大略如何

蘇我入鹿ノ僭擬セシ數條ヲ擧グ

入鹿父子誅シテ伏セシ顛末



八到孝德天皇時、  
神代兄皇子及輕皇子互為辭讓セシ結局  
年號ヲ始メテ問フ  
孝德帝ヲ制度ノ大綱ヲ舉ゴ  
貳省百官ヲ置キシハ何ノ代ナルヤ  
看川磨ヲ讒殺セテ狀ヲ問フ

齊明天皇

阿陪埜羅夫蝦夷ヲ伐シ何ノ代ナルヤ  
有馬皇子謀反シ大略ヲ記セヨ  
越國蘇古燃生燃水ヲ獻セシハ何ノ代ナルヤ

藤原鎌足ヲ社稷ノ大功ヲ舉ゴ  
漏刻ヲ置キ何ノ代ニシテ且誰ノ製ナルヤ  
木起殿ハ何處アリシ且其名ハ起原ヲ問フ  
大海大皇子之兵ヲ擧ゲシ大略  
垂申之亂ノ結局如何  
悠紀順紀之制ハ何帝ニ始ルヤ  
大津皇子之反ヲ問フ  
卯枝齋給ヲ記セヨ

持統帝儲ヲ議スルニ當テ葛野ノ奏言如何  
 三輪高市麿何事ヲ諫メシヤ  
 太上天皇ノ號ハ何帝ニ始ルヤ  
 天智天皇  
 役小角及流竄セラレシ所以ヲ問  
 本朝火葬ノ始如何  
 大和元明天皇  
 和銅改元ニシハ何ニ因ルヤ  
 古事記ハ誰撰タルヤ且何代ナレヤ  
 元正天皇ハ何ニ因ルヤ且何代ナレヤ  
 養老改元ニシハ何等ヲ事ニ因ルヤ

藤原不比等ノ四子ヲ舉ゴ

聖武天皇  
 左大臣長屋王ニ死ヲ賜フ本何故ソ  
 毎國ニ國分寺ヲ置キシハ何代ニシテ何年ナルヤ  
 藤原廣嗣ノ叛ハ何ニ因ルヤ且之ヲ討セシ大將ハ誰ソ  
 聖武帝ノ佛法ヲ崇信セシ大略ヲ舉ゴ

孝謙天皇

孝謙帝東大寺ノ行幸ヲ略記セシ書ニ何レヤ  
 太炊屋敷立又、太子田原ノ誰ノ所爲ナルヤ  
 橘奈良麻呂ノ獄下ル所以ヲ問フ因  
 淳仁天皇

光明皇后佛堂好ミシ大略ヲ舉ヨ  
淳仁帝太子皇弟隙ヲ生ゼシハ何ニ因ルヤ  
惠美押勝之反ス其原因及之ヲ討セテ大將ハ誰ソ  
淳仁帝以淡路ニ徙幸シ彌猴及其崩御ノ景況ヲ記セヨ

稱徳天皇

新氣清磨ヲ奏セテ神勅ヲ舉ニ  
僧道鏡何處ニ貶セラレシヤ  
阿倍仲麻呂唐ニ在ル頭末何  
藤原百川山部親王ヲ援立セシ所爲如何  
蘇我桓武天皇國ヲ

神武以來其謚號變定ハ何處誰ヨ且何ノ代ナルヤ  
聖德太子親臨ノ廢サレ文德何ニ因ルヤ  
平安城何處ノ定メシ都ナルヤ  
聖氣清磨皇ヲ舉ニ何處ニ因ルヤ  
皇弟登豫親聖德幽殺セラレ何ニ因ルヤ  
嵯峨天皇

聖德太子成攝亂ヲ略記セヨ  
實淺齋始メ何處ニ因ルヤ  
藤原淳和天皇  
漢書陸倕書

藤原資嗣德義之所爲也舉國  
親王又在國望定マシハ何ノ代ナルヤ且其國ヲ舉ヨ  
莫岑安世其名臣固爲ルハ何ニ因ルヤ  
養義解誰作誰所ナルヤ

仁明天皇

小野篁遣唐使辭セシハ何ニ因ルヤ且其貶謫セラ  
ル、斯以テ問フ  
皇太子蘇我眞蘇我蘇我蘇我何ニ因ルヤ  
平交蘇我德蘇我眞蘇我蘇我蘇我何ニ因ルヤ  
權林皇居蘇我佛蘇我ニ歸セシ大略何ニ因ルヤ  
小野篁蘇我與蘇我蘇蘇我學校ハ何處蘇我ニ在リテ蘇我ハ何ニ因ルヤ

天子ノ冠禮ヲ修定セシハ誰ソ

藤原清和天皇蘇我眞蘇我蘇我蘇我何ニ因ルヤ且其貶謫セラ  
伴善男蘇我流蘇我竈セシハ誰ニ因ルヤ

紀夏蘇我讚蘇我岐守タリシ時如何

藤原氏攝政蘇我以始セテ問フ

藤原保則蘇我兩備蘇我治セテ狀蘇我圖略記セヨ

貞觀蘇我國政ヲ問フ

清和帝位蘇我天遜レテ何事ヲ修セシヤ

貴幸陽和天皇蘇我ハ誰ニ因ルヤ

藤原保則蘇我天出羽蘇我ヲ蝦夷蘇我ヲ平ケシ計略如何

藤原基經蘇我廢立如何



安和の變は何代ニアルヤ且其ノ概略ヲ記セヨ  
浴泉帝は何故ニ位ヲ禪リシヤ

藤原在衡ノ恪勤如何

兼通兼家ト隙ヲ生セシ原因ヲ問フ

兼通最後ノ除目ヲ行フハ何カ故ゾ

兼通轉山天皇ニ對シテ大御歌ヲ

花山帝直言ヲ求ムル詔ヲ大意ヲ問フ

花山帝位ヲ望遜レシ顛末

一條天皇

僧齋然宋ニ通シ太宗ニ見察ヲ如何ナル問答アリシ

ヤ 兼通天皇

藤原兼通如何哉ヲ兼明親王ノ政權ヲ奪ヒシヤ其結

末如何哉

相家院ト稱スルハ誰ニ始メヤ

兼通院ト稱スルハ誰ニ始メヤ

兼通關白ト稱スルハ誰ニ始メヤ且其行狀如何

藤原道長ト稱スルハ誰ニ始メヤ且其行狀如何

一條帝ト稱スルハ誰ニ始メヤ

宸筆宣命ハ何ニ始ルヤ且何代ニ始ルヤ

一條帝ト稱スルハ誰ニ始メヤ

一條帝慈仁皇シテ民苦ヲ体セシ所爲如何



三 白河天皇  
 白河帝大井川ノ行幸ヲ略記セヨ  
 白河帝ノ院政ヲ問フ  
 後三年ノ役ヲ略記セヨ  
 堀河天皇  
 源義家大紅匡房兵法ヲ學ビシ大略  
 義家奥羽ニ在リ戦士ヲ激勵スル法何等ノ事ヲ以テセ  
 法親王ノ始母問フ  
 賴通白河住皇ノ親政ヲ釋ヒズシテ何等ノ語アリシヤ  
 堀河帝ノ心ヲ政事ニ留シシ大要ヲ問フ

二 鳥羽天皇  
 鳥羽帝以崇德帝末慈セザリシハ何ニ因ルヤ  
 源氏ノ太政大臣ニ任セテ依シハ誰ヲ始トスルヤ  
 鳥羽帝容儀ヲ修シ大略ヲ舉  
 保元ノ亂ハ何ニ因リテ起リシヤ  
 鳥羽帝對院政ヲ問フ  
 白崇德天皇  
 平忠盛ノ膽勇如何  
 崇德帝位ヲ去リシ顛末  
 崇德上皇讚岐ニ在リテ何テ事トセシヤ其結末如何  
 近衛天皇



藤原惠通ヲ頼長ト隙ヲ生セシ原因

後白河天皇  
保元ノ亂ヲ起セシハ何帝ナルヤ且之ヲ賛成セシハ誰

後白河帝ノ院政如何

二條天皇

平治ノ亂ノ原因ヲ略記セヨ

藤原光頼ヲ信頼ヲ面折セテ狀ヲ問フ

藤原信頼ヲ誅シ伏セシ顛末

源義朝敗走ノ結末

二代后ノ名及所以ヲ問フ

源賴朝屢ク死ス免ル所以ヲ記セヨ

後白河上皇ニ條帝ト協ハテリシハ何ニ因ルヤ

一谷高倉天皇

源爲朝ヲ太島ニ流シレシ顛末

源若ノ鞍馬ニ墜奥ニ赴キテ大略

藤原師光成親等鹿谷ニ會シ何ヲ謀リシヤ

平清盛ヲ法皇ヲ幽スル所以ニ因ルヤ

高倉帝ノ仁慈如何

安徳天皇

源賴政兵ヲ起セテ結局如何

清盛都ヲ福原ニ遷スル何故ゾ

源賴朝石橋山ノ戰ヲ問フ  
 平維盛富士川ノ役ヲ略記セヨ  
 清盛兩都ノ利害ヲ議セシ時藤原長方ノ直言如何  
 平氏最盛ノ時ノ景況ヲ問フ  
 篠原兼實盛ノ戰死如何  
 藤原兼實京師ヲ主立ルノ議ヲ舉ヨ  
 源義仲ノ暴横ヲ舉動ヲ略記セヨ  
 源義仲戰死ノ狀如何  
 一谷ノ戰ヲ略記セヨ  
 義經梶原景時運糧ノ論ヲ問フ  
 壇浦ノ戰平氏敗滅ノ狀ヲ記セヨ

後鳥羽天皇

義經迫テ賴朝ヲ討スルノ院宣ヲ請フニ當リ藤原兼實  
 ノ議如何  
 靜鎌倉ニ至リ何等ノ事ヲ測シヤ  
 源賴朝ヲ藤原泰衡ヲ討平セシ顛末  
 僧西行ノ人爲リ如何  
 西行鎌倉ニ至リ賴朝ヲ見シ時如何ナル事アリシヤ  
 藤原忠光ノ執ハルニ狀如何  
 賴朝富士野ノ獵ニ何事アリシヤ  
 源範賴ヲ殺サレシハ何ニ因ルヤ  
 後鳥羽帝ノ英武ノ所爲ヲ舉ヨ

土御門天皇  
 梶原景時ノ誅セラレシ顛末  
 源賴家比企能員ヲ召シ何ヲ謀リシヤ且其結局如何  
 鎌倉三代將軍ヲ舉ヨ  
 土御門帝ノ土佐ニ徙サレシ所以ヲ問フ  
 順德天皇  
 和田義盛ノ亂ハ何ニ因ルヤ  
 僧公曉ノ父讎ヲ報セシ顛末  
 仲恭天皇  
 承久ノ變ニ義時ノ處置如何  
 後堀河天皇

兩六波羅ノ始ヲ問フ  
 北條義時ノ沉勇如何被見テ誰ヤ  
 尼將軍下ニ誰ニ云ヤ  
 石込首ヲ誰ニ撰ナリ  
 北條四條天皇  
 僧圓爾南菅原爲長ノ問答ヲ略記セヨ  
 三藏養嵯峨天皇  
 北條泰時ノ後嵯峨帝ヲ立テシ大略如何  
 僧高辨ノ泰時ヲ説キシ語如何  
 後深草龜山二帝ノ後迭ニ立テテ策ヲ立テシハ誰ノ所  
 爲ナリ

後深草天皇

北條時賴少賴經ヲ逐シテ何故立マシメシト云ハク  
 北條時賴少儉薄如何ト云ハク  
 青祇藤綱ノ訟ヲ判セシ大略ヲ問フ  
 三浦泰村ノ誅セラレシ概略  
 曾國龜山天皇  
 北條時賴解職ノ後心ヲ政事ニ用ヒシト如何  
 大將軍宗尊ヲ逐レシ原因  
 後宇多天皇  
 筑紫ニ探題ヲ置キシ所以ヲ記セヨ  
 畠安政役ヲ略記セヨ

伏見天皇

大將軍惟康親王ノ北條貞時ヲ逐レシハ何ニ因ルヤ  
 淺原爲賴ノ禁内ニ亂入セシ結局  
 兩統遷立十年ヲ限ルノ策ヲ定メシハ誰ゾ  
 後伏見天皇  
 伏見上皇  
 北條貞時  
 後伏見帝禪位時五上皇アリト其名ヲ擧グ  
 花園天皇  
 北條貞時辭職ノ後遊歴如何セシヤ  
 花園帝禪法ヲ好ミ僧ヲ師トセシ事ヲ問フ  
 後醍醐天皇

本邦昔始關程朱ノ説ヲ倡ヒシハ誰ゾ  
 無禮講義何等ノ會議ヲ稱ヤ  
 北條高時疾瀕リシ時長崎高資等如何ナル事ヲ謀リシ  
 ヤ  
 尊雲法親王ヲ座主ニ補置ラレシハ何ニ因ルヤ  
 立階堂貞藤ハ高時ヲ諫メ事如何ゾ  
 後醍醐帝笠置山ノ行幸如何  
 後醍醐帝ヲ楠正成ヲ召見セシ大略如何  
 赤坂城ヲ陷レシ如何ナル畫策アリシヤ  
 兎嶋高德ノ櫻樹ニ題シテ詩如何  
 赤坂城ヲ陷レシ狀ヲ略記セヨ

後醍醐帝ヲ隱岐ニ發シテ顛末如何  
 新田義貞ハ義兵ヲ起シ鎌倉ヲ陥レシ大略及高時誅ニ  
 依高外狀如何  
 後醍醐帝巡狩還宮ノ儀如何  
 決斷所ヲ置キ何事ヲ司リシヤ  
 藤原藤房天馬ヲ諫メ略記セヨ  
 護良親王ヲ幽セシ原因如何  
 護良親王ヲ弒セラレシ狀ヲ問フ  
 新田義貞白旗城ヲ圍ミテ求略ヲ記セヨ  
 龜島舉瀨東上熱ノ黨ヲ楠正成ノ戰略ヲ學ビ  
 楠正成戰死シテ狀ヲ記セヨ

楠正成其子正行ヲ誠メシ語ヲ問フ  
 金崎城ノ陷ルシ狀ヲ略記セシ事  
 藤嶋ノ戰及新田義貞ノ戰死ヲ問フ  
 其後村上天皇  
 西條殿ノ戰及正行ノ和歌傳記セヨ  
 主岐賴遠ノ亂暴如何  
 高師直及師泰ノ幕府ヲ圍ミシハ何ニ因ルヤ  
 是利直義歸順ヲ請フ事當外廷議如何  
 立高伏誅ノ大略  
 源親房ノ神皇正統記ヲ著セシハ何ノ意又高師直  
 畠山國清新田義興ヲ誘殺セズ願末

臨田國清ノ戰死ニ所以ヲ問フ  
 細川頼之ヲ義詮ニ薦メシハ誰ゾ且其ノ輔導ノ大略如  
 何  
 菊池武光勤王ヲ舉ゲ略記  
 後龜山天皇  
 細川頼之ノ職ヲ罷メシハ何ニ因ルヤ  
 南朝ノ帝號ヲ舉ゴ  
 長慶天皇  
 六分一氏ヲ誰ナルヤ  
 後小松天皇  
 南朝兩朝ハ何帝至リテ其統ヲ歸セズ

金閣寺ハ誰ノ創立ニシテ其ノ結構ノ大略  
 明ノ封冊ヲ受ケシハ誰ナルヤ  
 六代稱光天皇  
 鎌倉ノ雨上杉ヲ舉ヨ  
 義持ノ義嗣ヲ殺セシハ何ニ因ルヤ  
 赤松滿祐ノ兵ヲ稱ケシハ何故國ルヤ  
 義持明ノ通好ヲ辭セシ語ヲ略記セヨ  
 特氏ノ義教ト隙ヲ生ケル原因  
 僧宗純ノ皇嗣ヲ定メシ大略ヲ記セヨ  
 隆川後花園天皇ニ關スル其ノ大略  
 源義教ノ一色義範ヲ殺シテ所以ヲ問フ

義教持氏ヲ攻ムルニ及ンテ上杉憲實ノ所爲如何  
 赤松滿祐ノ將軍義教ヲ弑セシ顛末  
 藤原有光ハ誰ヲ擁シテ兵ヲ起シヤ其結局如何  
 特氏ノ季子永壽王成立以後如何  
 赤松氏ノ遺臣罪ヲ贖ヒシ大略  
 賢軍義政ノ靡麗ヲ窮メシ事ヲ舉ヨ  
 僧等揚ノ人ト爲リ如何  
 太田後主御門天皇ニ關シテ其大略ニ  
 義政義尋ト如何ナル誓ヲ爲シヤ  
 義政ノ妻其子ヲ託シテ大略  
 應仁ノ亂ハ何由兆セシヤ

應在ノ亂ノ東西ノ主將ヲ學ヨ  
 僧一休ノ人ト爲ル如何  
 義政ノ銀閣寺ヲ築キシ概略  
 太田道灌ノ何等ノ術ニ精シキヤ且其殺サレシハ何ニ  
 因ルヤ  
 足利義熙ノ學藝如何  
 足利茶々丸ノ父ヲ殺セシ原因  
 伊勢氏茂ヲ敏捷ノ所爲如何  
 三浦義同ノ父ヲ殺セシ何ニ因ルヤ其殺シ被ル  
 北條氏茂ヲ大森實賴ヲ襲ヒシ策  
 義隆後栢原天皇

大内義興ノ前將軍義植ヲ奉シ京師ニ入リシ顛末  
 武田信廣ノ蝦夷ニ疆土ヲ拓キシ原因  
 本願寺僧光兼ノ門跡ニ准セラレシハ何ニ因ルヤ  
 後奈良天皇  
 武田晴信海軍城ヲ攻メシ策略  
 武田晴信ノ父ヲ逐ク概略  
 本朝鳥銃ヲ傳ヘシ始ヲ問フ  
 天主教者我國ニ入リシハ何ニ因ルヤ  
 北條氏康河越ヲ襲ヒシ戰ノ顛末  
 太内義隆ノ奢麗ヲ略記セヨ  
 陶晴賢ノ大内義隆ヲ弑シテ原因



長尾景虎大如何シテ上杉氏ヲ討セシヤ  
 毛利元就ノ陶晴賢ヲ討セシ方略如何  
 北條正親町天皇ノ御末  
 木下秀吉ヲ始テ織田氏ニ仕ヘシ概略  
 桶狭間ノ役ヲ略記セヨ  
 河内島戰ノ勝敗ノ大略如何  
 織田信長齋藤龍興ヲ削弱シテ計略如何  
 松永久秀ヲ將軍義輝ヲ弑セシ概略  
 姊川ノ役ヲ略記セヨ  
 毛利元就ノ大志ヲ問フ  
 信長ヲ討テ山ヲ焚キシハ何ニ因ルヤ

三方原ノ戰勝賤ノ大略  
 武田信玄何事ヲ遺命セシヤ  
 上杉謙信ノ軍營ノ詩如何  
 長篠ノ戰ヲ略記セヨ  
 木下秀吉羽柴ト改姓セシ意如何  
 始末主關ヲ起シ誰ゾ  
 織田毛利二氏ノ兵ヲ構ヘシハ何ニ因ルヤ  
 大友義鎮天主教ヲ好ミシ結末如何  
 明智光秀ノ丹波ヲ略取セシ狀如何  
 武田勝頼戰死ノ狀ヲ略記セヨ  
 明智光秀信長ヲ弑セシ原因

本能寺ノ亂ノ大略ヲ舉ル  
 秀吉光秀山崎ノ戰如何  
 織田信孝ノ秀吉ヲ討ルノ由何故  
 賤岳ノ戰ヲ略記セ  
 賤岳七槍ヲ舉ル  
 小牧山之役ノ大略ヲ問フ  
 長湫ノ戰ヲ勝敗ヲ記ス  
 羽柴秀吉ノ關白ヲナル所以ヲ問フ  
 秀吉ヲ置キテ五奉行ヲ舉ル  
 徳川臣僚ヲ朝命ヲ受クニ始ヲ問フ  
 三式後陽成天皇

大綱

秀吉嶋津義久ヲ征セシ顛末  
 聚樂第ヲ盟約ノ要目ヲ舉ル  
 秀吉北條氏政ヲ征伐セシ原因如何  
 本田原征討ノ役款ヲ秀吉ニ納レシハ誰ゾ  
 徳川家康ヲ關東八國ニ封セシハ誰ゾ且何帝ノ代ナル  
 征韓ノ役ハ何ニ因ルヤ  
 秀吉伊達政宗ヲ封テ削平シ原因  
 豊臣秀吉職ヲ罷メ誰ヲ以テ關白ト命ジ且自ラ何ト  
 號セシヤ  
 秀吉巖嶋祠ニ謁シ錢ヲ擲テ何ヲ卜セシヤ

征韓ノ役誰ヲ元帥トセシヤ其先鋒如何  
 征韓ノ役和議ヲ主トセシ者ヲ問フ  
 秀吉親征ヲ議セシ時淺野長政内激論如何且曰何  
 關白秀次ヲ死ヲ賜セシ所以  
 秀吉頒布セシ新令六條ノ大略  
 況惟敬封冊ヲ秀吉ニ進メシ結末  
 朝鮮再征ノ役明軍ヲ總督ハ誰以臨メ且何時  
 蘇由以從去略記セヨ  
 五大老三中老ヲ部署セシ大略  
 耳塚起ルヲ問ヌ目  
 赤隊長ノ姓名ヲ舉メ

石田三成ハ誰ト謀ヲ通シ德川家康ヲ討セシヤ  
 三成兵ヲ擧グルニ誰ヲ盟主トセシヤ  
 關ヶ原ノ役款ヲ東軍ニ送リシ西軍ノ將ヲ擧メ  
 荷蘭ノ始テ互市ヲ通セシハ何ノ代ナルヤ  
 德川家康本願寺ヲ建テシ所以ハ如何  
 家康朝鮮ト和議セシ意如何  
 秀康加増ヲ駿府ニ乞ヒシ結末  
 嶋津家久琉球ヲ擊テシ顛末



大賣捌所

新潟區 東仲通 小林 二郎

同 東堀通五番町 林 富吉

同 古町通六番町 片桐賢三

同 同通七番町 佐藤庄八

同 本町通六番町 寺井巨平

同 西蒲原郡 櫻井産作

同 西蒲原郡 加藤藤七

同 卷町 笛木又平

同 地藏堂町 伊丹屋藤吉

同 南蒲原郡 三條町 樋口 小左衛門

同 同 常盤屋時藏

同 同 山井素功

同 同 高橋半造

同 小須戸町 新保屋太吉

同 新津町 坂爪巖太

同 龜田町 五十嵐六平

同 五泉町 淺野六平

同 水野 禎三

同 北蒲原郡 新發田町 大瀧 九右衛門

同 葛塚町 嶋屋七太郎

同 中條町 弦卷七十郎

同 同 村山長太郎

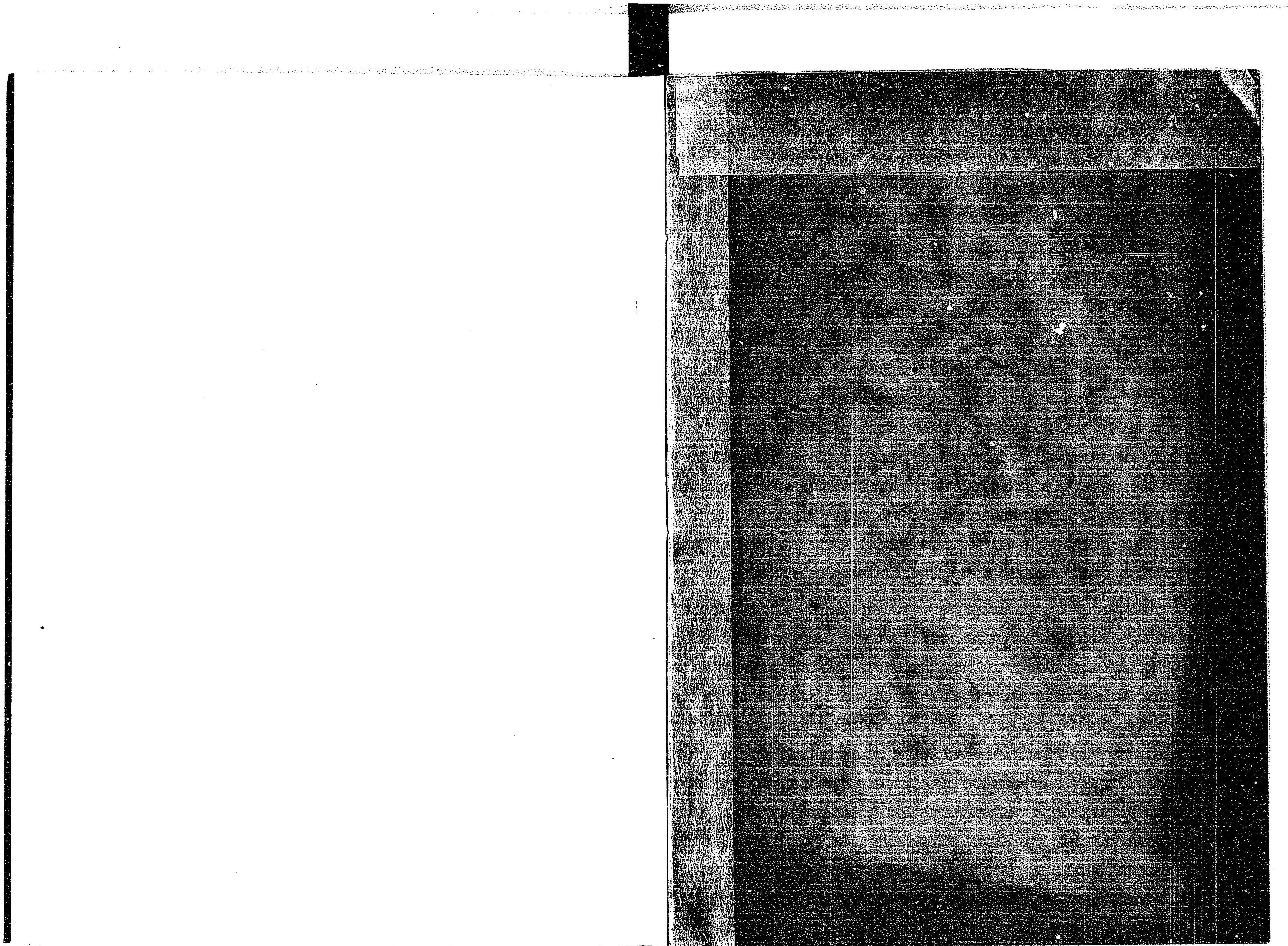
同 同 西村六平

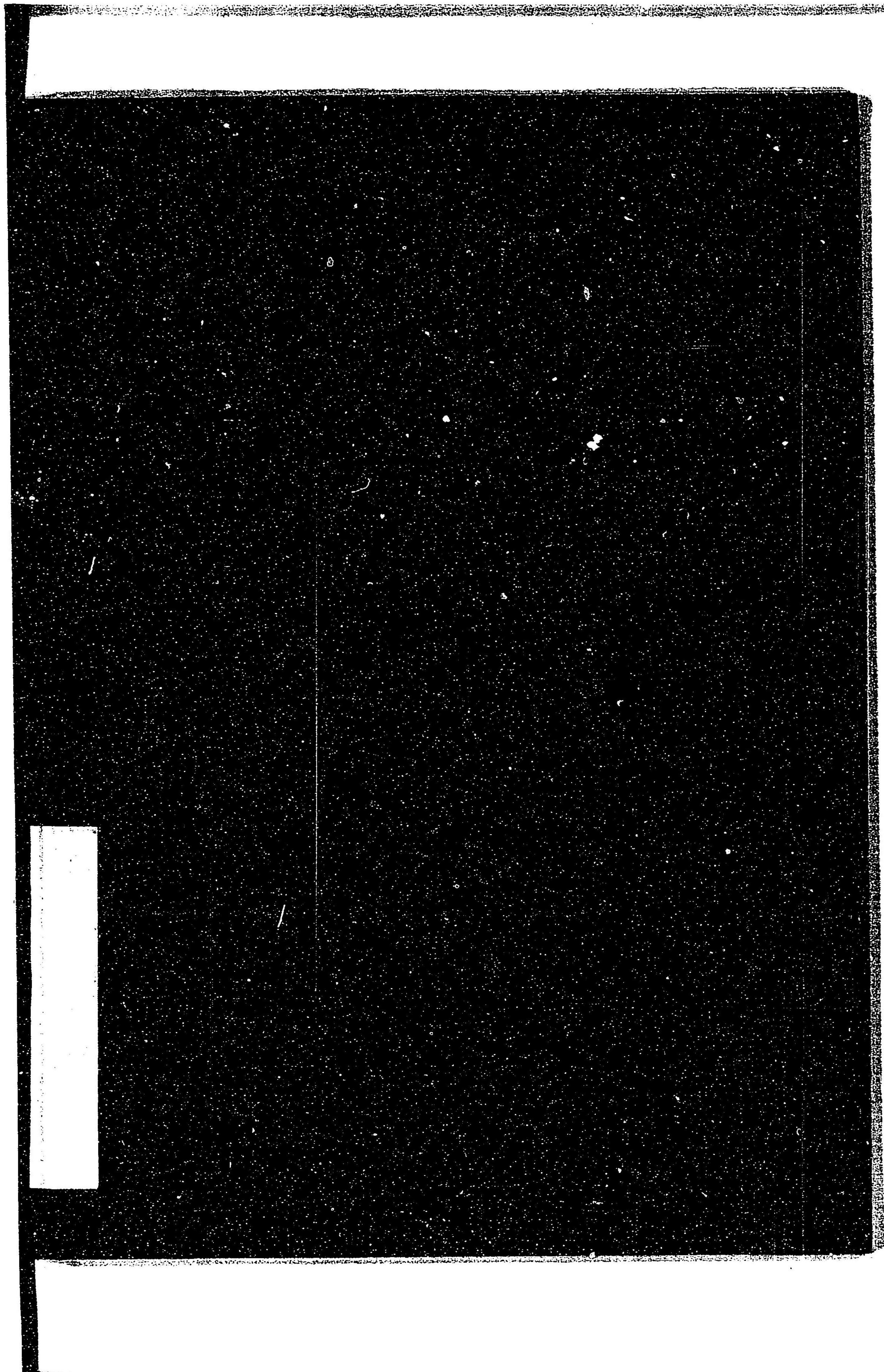
同 同 森田紋吉郎

同 同 近江屋 又四郎

同 同 西村鐵治郎









特50

606

地理歴史試験問題集

国立国会図書館

049597-000-6

特50-606

地理歴史試験問題集

水上 泰健/編

M17

BEM-0296

